

平成 26 年 10 月 3 日

会員の皆様へ

東京コンクリート診断士会 第 17 回技術セミナーのご案内

東京コンクリート診断士会

会長 小野 定 Tel:042-328-0337

会員の皆様には益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。

このたび東京コンクリート診断士会第 17 回技術セミナーを、下記のとおり開催いたします。

TCD 会員、地区診断士会および法人会員の皆様、万障お繰り合わせの上、奮ってご参加の程、よろしくお願い申し上げます。

1. 日時: 平成 26 年 10 月 22 日(水) 13:10~17:00

2. 場所: (益社) 日本コンクリート工学会 11 階会議室

(東京メトロ半蔵門線 半蔵門駅 1 番出口より 100m 先左側 相互半蔵門ビル)

3. セミナープログラム

(1) 開会挨拶 東京コンクリート診断士会会長 小野 定 13:10~13:20

(2) JCD 法人会員の保有技術紹介(最新の非破壊検査機器紹介) 13:20~13:45

講演者: 株式会社 KSK 構造診断研究所 開発部営業部長 小原 勝次

(3) JCD 法人会員の保有技術紹介(高炉スラグを用いて耐塩害性、耐凍害性、

耐硫酸性を向上した緻密コンクリート「ハレーサルト」 13:45~14:10

講演者: ランデス株式会社 技術部副部長 細谷 多慶

(4) コンクリート診断士を取り巻くリスクとリスクカバーについて 14:10~14:40

今後、公共インフラの点検・診断の役割が大きくなるにつれ、点検・診断結果の瑕疵に対する責任リスクも高まることことが予想される。今回、今後想定されるリスクとリスクに対する補償のあり方について説明。

講演者: 東京海上日動火災保険株式会社 公務開発部課長代理 大和田 亮太

(5) 休憩 14:40~14:50

(6) 西湘バイパス橋梁・高架橋の耐震補強、塩害対策工事報告 14:50~15:50

飛来塩分による塩害の進行している西湘バイパスの橋梁、高架橋の合理的な大規模塩害対策と耐震補強の施工報告。

講演者: 鹿島建設株式会社 土木管理本部土木工務部 担当部長 柳澤 博

(7) 下水道管の老朽化の現状と対策 15:50~16:50

東京都の下水道施設も老朽化が急速に進み、早急な対応が求められている。特に、下水道管は地中に埋設され、また人の入れない管が多いため老朽化の状況が掴み難い、下水の流れる劣悪な環境に曝されている、下水の流れを止めることができない、などの特徴があり、独自の調査手法や対策が求められている。今回、老朽化の現状と下水道事業独自の対策手法を紹介。

講演者: 東京都下水道サービス株式会社 技術部技術開発課長 中坪 雄二

(8) 閉会挨拶 東京コンクリート診断士会 事務局長 峰松 敏和 16:50~17:00

4. 参加費

会員: 2,000 円 TCD 会員および JCD 会員 (各地区診断士会含む)

非会員: 4,000 円

なお、参加費は当日会場で徴収いたします。

技術セミナー終了後、ダイヤモンドホテル レストランプルメリアにおいて、会費 3,500 円で技術交流会を予定しております。

(参加自由)

5. 申込み方法および締め切り等

・本技術セミナーは土木学会継続教育(CPD)対象として登録いたします。

・申込みは、メールまたはファックスで当会事務局までお申込みください。

(技術交流会のご出欠予定も記してください)

東京コンクリート診断士会 第17回技術セミナー参加申し込み

(平成26年10月22日)

Email : tcd@candr.jp

Fax : 042-320-5506

申し込み期日：10月15日

氏名	所属地区の会（ 正会員 賛助会員 非会員 法人会員）		
出欠	技術セミナー	出席	欠席
	技術交流会	出席	欠席
勤務先および所属	勤務先および所属： 連絡先（Email）： 電話：		